

こんにちは。トリプルアイズの光石です。  
いつもお読みいただきありがとうございます。

トリプルマガジンでは、当社の製品やサービスについてはもちろん、IT・AIに関する最新情報を発信しています。たまに社内の出来事もお知らせします。身近に感じていただけると嬉しいです。

さて今回のコラムは、

「いま話題のリスクリングって何？ 社内でAI人材を育成するには！」というテーマでお届けします。

トリプルニュースでは、「弱冠17歳率いるチームが優勝！ 第14回UEC杯コンピュータ囲碁大会」「トラック協会の助成対象機器にトリプルアイズのアルコール検知器が選定」「トリプルアイズ、不動産テックのGATESグループと資本業務提携」についてご紹介いたします。

さらにIT批評では、新着記事2本「ERATO 脳AI融合プロジェクトメンバー 紺野大地氏に聞く」と「ワールドカップが求めた数学的な正しさと、ポストヒューマニズムの行方」についてご紹介いたします。

どうぞ最後までお付き合いください。

-----<目次>-----

1. 「いま話題のリスクリングって何？ 社内でAI人材を育成するには！」
2. トリプルニュース
3. IT批評
4. 編集後記

## 1. 「いま話題のリスクリングって何？ 社内でAI人材を育成するには！」

TRIPLEIZE

選ばれる3つの理由 INTRODUCTION 受講までの流れ FAQ 受講者の声 運営会社

# AIビジネス実践学

AI人材の社内育成なら、AI20

開始1年で  
経受者数  
**500名**  
突破!

AI開発に特化した実践型カリキュラム  
現役のAI開発エンジニアがフルサポート

AI20キャンペーン  
実施中!

最近注目度が増している「リスキリング (re-skilling)」。2022 年の新語・流行語大賞にもノミネートされていましたね。

そもそもリスキリングとはどういうものなのでしょうか。経済産業省の資料によると「新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得する／させること」と定義されています。

参考：[経済産業省 第 2 回 デジタル時代の人材政策に関する検討会](#)

デジタル技術の発展により、ビジネスモデルやサービス・製品、働き方などにおいても、私たちをとりまくビジネス環境は目まぐるしく変化しています。

そんな変化の激しい時代を乗り越えるために、企業はデジタル技術の導入や運用を推進し、個人は新しい知識やノウハウ・スキルを身に付ける必要が出てくるわけです。

リスキリングは、必ずしもデジタル領域に特化されているわけではないようですが、2030 年には AI・IoT 先端人材が 55 万人不足するともいわれており（2019 年 3 月 経済産業省）、デジタル技術に関連した能力やスキルが注目されています。

企業としては、急速に進む AI 化に取り残されないよう、リスキリングの仕組みづくりをいかに進められるかがビジネスの成否を分けるといっても良さそうですね。

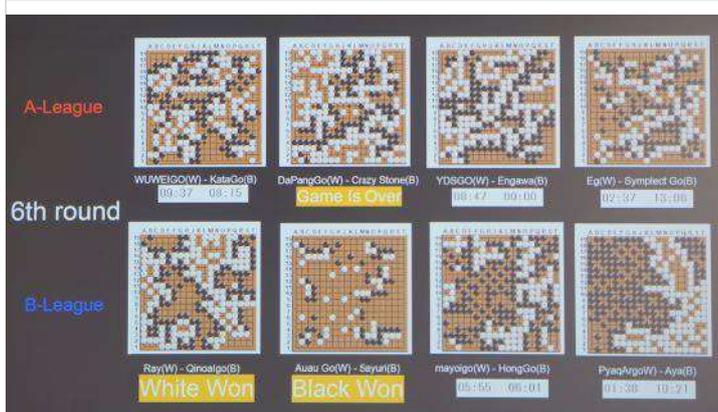
トリプルアイズにも、最先端技術（Advanced Technology）に携わる社員の比率を引き上げる独自の教育プログラム、「AI ビジネス実践学 AT20」という教育プログラムがあります。AI 開発に特化した実践型カリキュラムで、現役の AI 開発エンジニアによるサポートもあります。現在私も入門コースを受講中です。

「入門コース」は、プログラム未経験者で AI の基礎知識を学習したい人向けのもので、営業やプリセールスエンジニアの方なども受講されています。段階的に「Python 基礎コース」「AI エンジニア初級コース」「AI エンジニア中級コース」とステップアップでき、習熟度や実務に必要なレベルに合わせてプログラムを選択することが可能です。

AI 人材の社内育成なら「AT20」、ご興味のある方はぜひ[こちら](#)からお気軽にお問い合わせください。

## 2. トリプルニュース

「弱冠 17 歳率いるチームが優勝！ 第 14 回 UEC 杯コンピュータ囲碁大会」



2022年11月26日(土)・27日(日)の両日に開催された「第14回 UEC 杯コンピュータ囲碁大会」。トリプルアイズも運営に協力しましたので大会の様子をレポートします。



日本、中国、フランス、アメリカ、韓国、台湾 6 カ国から強豪 18 チームが揃い、AI の技術を競いました。今大会は、電気通信大学会場とオンラインのハイブリッド開催となり、2 日目の本戦は YouTube でも生中継されました。

初日の対戦で 16 チームが翌日の本戦に進出、上位 8 チームが A リーグ、9 位以下が B リーグで覇を競いました。A リーグ優勝を手にしたのは中国から参加の Symplect Go チーム。予選 5 位通過ながら本戦では全勝と、初出場にしてその技術力の高さを見せつけました。

表彰式で Symplect Go チームの代表者が高校生であることが明かされ、場内はどよめきに包まれました。また、他の上位チームも若い世代が多く参加しており、囲碁 AI に新時代が到来したことを予感させる大会となりました。

<https://www.3-ize.jp/information/2843/>

「トラック協会の助成対象機器にトリプルアイズのアルコール検知器が選定」

アルコール検知AIクラウドシステム

## AIZE Breath

ドライバー  
1人に1台

離れた場所でも  
しっかりチェック



トリプルアイズが提供するアルコール検知 AI クラウドシステム「AIZE Breath」のハンディタイプが、**全日本トラック協会の安全装置等導入促進助成事業における対象機器に選定されました！**

事業用トラックの交通事故ゼロを目指し、安全に資する装置等の普及を図るこの助成事業。「IT 機器を活用した遠隔地で行う点呼に使用する携帯型アルコール検知器」のカテゴリで助成対象機器に選定されました。**Gマーク認定事業所が導入する場合に限り、助成対象となります。**

助成額：対象装置ごとに機器取得価格の1/2、上限2万円

お申し込み等詳細につきましては、所属のトラック協会にお問い合わせください。

全日本トラック協会ホームページ：<https://jta.or.jp/>

一般財団法人環境優良車普及機構ホームページ：<https://www.levo.or.jp/chosa/jyosei/index.html>

AIZE Breath は、ドライバーの顔画像を AI が認証しアルコール検査結果をクラウドシステムに記録するシステムです。

自動記録かつ一元管理で業務工数を大幅に削減します。ハンディタイプは場所を選ばずアルコールチェックをすることができます。お手持ちのスマホで顔認証打刻を行い、検知器に息を吹きかけると自動でアルコール測定がなされ、打刻データとアルコール測定結果がクラウドシステムに記録される仕組みです。

<https://www.3-ize.jp/information/2852/>

<https://aizebreath.jp/>

「トリプルアイズ、不動産テックの GATES グループと資本業務提携」



2022年12月2日（金）、株式会社トリプルアイズは、GATES GROUP 株式会社及びその子会社である GATES 株式会社と、三社間で資本業務提携を結びましたのでお知らせいたします。

GATES は、「Lifetime Relationship」をビジョンに掲げる不動産テック企業です。コア事業である不動産投資のワンストップ事業を軸に、結婚や投資、相続、事業承継などライフステージごとに変化していく顧客の多様なニーズに一貫して対応するトータルライフサービスを提供しています。

52 万件の謄本ビッグデータを活用した直接仕入れと、Fintech（クラウドファンディング）を活用した直接販売を強みとしており、競争優位のビジネスモデルを確立しています。

今回のトリプルアイズと GATES グループとの資本業務提携に伴い、トリプルアイズは GATES GROUP の株式を取得し、また GATES と協業を行います。具体的な協業の内容として、GATES の保有するビッグデータをもとに、不動産売却領域からスタートし、仕入れ・購入領域の AI 化などに着手します。

さらに、顧客の属性や指向性のデータベースと AI による需要予測をもとに、GATES が一定の収入層に対してインテリアや保険といった不動産以外のサービス提案を展開していく際の支援も予定しています。

<https://www.3-ize.jp/information/2858/>

### 3. IT 批評

#### 新着記事のご紹介

#### 今月の特集：ERATO 脳 AI 融合プロジェクトメンバー 紺野大地氏に聞く



脳と AI とを融合させる。これまで SF で描かれていたような世界が現実になりつつあります。イーロン・マスクが設立した Neuralink をはじめ、脳とコンピュータをつなぐ BMI（Brain Machine Interface）の新技术が、陸続と発表されています。

東京大学の池谷裕二研究室で脳の基礎研究に従事しつつ、池谷教授の「ERATO 脳 AI 融合プロジェクト」に参画する紺野大地氏に、その最前線と未来像をお聞きしました。

## 今月のレビュー：ワールドカップが求めた数学的な正しさと、ポストヒューマニズムの行方



みなさんワールドカップは楽しんでますか？ 日本代表残念でしたね。

今回の大会で目を引くのは VAR や半自動オフサイド判定といったテクノロジーの進化です。そんなサッカーの話題から、AI の登場によって人間の存在自体が再定義を迫られている現状について語ります。

<https://it-hihyou.com/>

\*\*\*\*\*

### 編集後記

今回もトリプルマガジンをお読みいただきありがとうございました。

あっという間に 12 月、ひんやりした風が肌にしみる季節になりました。さて、今回コラムで紹介した AT20 の入門コース、私も受講中で現在折り返し地点にいます。

土曜日の子どものお昼寝中に動画を視聴、日曜日の同時間に課題テストを解くというルーティンが身につきました。直近の回では、世の中にどんな AI サービスがあるのか、それが企画され実装されるまでの AI プロジェクトの流れなどを学びました。

実装して終わりではなく運用時の KPI 測定や随時アップデートしていくことでより便利なサービスとなっていくのですね。気になった皆さん、ぜひ[こちら](#)をチェックしてみてください。

それでは、次回のトリプルマガジンもお楽しみに。

\*\*\*\*\*